



のごみっこ

鹿島市立能古見小学校
学校だより 文責 山口高弘
令和5年5月24日号 (No.4)



【学校教育目標】

「かしこく・正しく・たくましく 共に伸びゆく能古見っ子」

令和5年度学校評価計画

学校評価とは、法律により実施・公表が求められているものです。その目的は次の通りです。

- ① 各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。
- ② 各学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。

能古見小学校の学校評価計画の一部を下に載せています。計画表の全体は学校ホームページの「学校評価」でご覧ください。

■能古見小ホームページ
※QRコード⇒⇒



4 重点取組内容・成果指標			
(1) 共通評価項目			
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組
●学力の向上	○学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	●学力向上対策評価シートに示した成果指標を達成した教師90%以上	・研修の時間を定期的に設け、取組の共通理解と共通実践に取り組む。 ・家庭学習への確実な取組への強化を図る。
	○特に算数科の授業において、深い学びにつながるような授業づくり	○算数アンケートで「自分の考えを言おうとしている」「分かったことを伝えることができる」児童85%以上 ○学年末たしめテストで算数科の平均正答率80%以上	・アタックタイムで全員が自分の考えをかけるように指導の工夫をする。 ・充実した学び合いになるように日ごろから自信をもって自分の考えが言えるような学習づくりに努める。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学級及び個人で「自分のよいところが言える」と思う児童80%以上	・各学年で心のめあてを設定し、毎月振り返る。 ・平和学習や人権集会等の実施。 ・道徳科の授業充実を図り、人権意識の向上につなげる。 ・保護者や地域と連携したふるさと体験活動の実施・感謝の気持ちを伝える取り組み(書中見舞いはがきなど)
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめアンケート等で、困っているときに相談できる相手がいると答えた児童80%以上	・心のアンケート実施(年6回) ・学校生活(しめ)アンケートの実施(年2回) ・いじめアンケートの実施(年2回) ・アンケートをもとに個別の教育相談を実施 ・教育相談習慣(QUIアンケートの後に実施)
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・年1回の学校生活アンケートの実施 ・職員間で共通理解を図り、すべての教育活動で頑張っている児童に対して褒めることを意図的に行っていく。
●健康・体づくり	◎志を立て、自ら目標に向かって努力する子供の育成	◎志を持ち、自分の目標に向かって努力していると回答する児童75%以上	・定期的に学習や学校生活の振り返りを行い、児童一人ひとりの目標の確認とステップアップを図る。 ・すべての教育活動で意図的に頑張る児童を評価する取組を行う。
	●「運動習慣の改善や定着化」 ●「安全に関する資質・能力の育成」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80%以上 ●「健康に良い食事をしている」児童生徒80%以上	・身体みは全校児童が外遊びをするように、遊び道具を充実させたり、放送で呼びかけたりする。(年間を通して) ・健康に関する情報を「保護便り」で伝え、日々の健康チェック(痛みがきかカレンダー)等の記入を通して基本的健康活動の習慣化を図る。 ・好き嫌いをせせりさ食できるように、栄養教諭との授業や、食育月間、給食週間を利用して、食の大切さを呼びかける。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○体育学習の充実 (スポーツチャレンジ・体育学習の充実)	○IT体育の授業において指導技術が向上した教職員が80%以上	・外部講師を招聘し、ともに授業に取り組むことで学習の充実を図る。 ・全校級がスポーツチャレンジに取り組み、記録をとり、平均や最高得点等を紹介する。
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。(月45時間、年間360時間を超えない)	・ICTを活用した業務の効率化 ・職員間の情報の共有化 ・定時退勤日の徹底
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
○特別支援教育の充実 ○地域との連携	○「個に応じたきめ細やかな指導」「交流学習の充実」 ○「地域人材を活用した取り組みの充実」	○合理的配慮し、特別支援教育に関する専門性が向上した教職員が90%以上 ○「学校は、保護者や地域の方と協力して子どもの指導や行事開催に取り組んでいる」と回答した割合80%以上	・巡回相談を全校統行し、実態に応じた指導ができるようにする。 ・職員連絡会や職員研修で定期的に児童についての共通理解を図る。 ・学校運営協議会、関係機関と連携を図り、地域人材リストを作成し、教育課程の中に位置づける。

●…業共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

今後、保護者の皆様には「中間・期末評価」を、学校運営協議会委員の皆様には「学校関係者評価」をお願いし、結果を集計して考察し、説明や公開を行う予定です。これからも、学校評価を通じて、保護者や地域の皆様に学校運営に関するご理解とご参画を得ながら、連携をさらに深めた学校づくりを進めていきます。



R5年度の能古見小 その5:1人1台パソコン ～校内や家庭での活用～

鹿島市内小中学校は「1人1台学習用パソコン(このあとパソコン)」整備を行っています。本校でも、学習活動の一層の充実や授業改善を図ることを目的として、積極的にICT機器(パソコン、電子黒板等)の利活用を進めているところです。

今年度からは、本格的に家庭へのパソコンの持ち帰りを始め、家庭学習での活用を行っているところです。活用例としては、「デジタルドリルで復習をする」「調べ学習や資料作成をする」「学校の授業をリモートで受ける」などがあり、さらに幅広く子どもたち一人一人のニーズに対応した活用を計画しています。子どもたちが家庭で利用する場合は、見守りなどもよろしくお願ひします。

学校でも引き続き「文字を打ち込んだり、撮影した写真を貼り付けたりする」「インターネット情報を集めて、資料や話し合いの材料として使う」などの活用を進めます。

ICTを活用した授業の様子は、ホームページの「校長ブログ」や学校だより等でも随時お知らせして行きます。

パソコンを持ち帰っての学習について

鹿島市教育委員会

鹿島市では、令和3年4月からPCをすべての児童生徒に貸与し、学校での学習や緊急時等のリモート授業等に活用しています。

令和5年度からは、一人一台PCを家庭に持ち帰って、家庭学習での活用も推進します！

PCを家庭に持ち帰って学習することで

- ① 情報活用能力の育成を目指します
- ② 学校と家庭の学びをつなぎます
- ③ 一人一人に応じた学びの実現を目指します

学校でのPC活用

家庭でのPC活用

これからのデジタル社会を生き抜く子どもの育成

こんな家庭学習がスタートします！(活用例)

デジタルドリルを活用することで、計算や漢字をその場で採点できます。間違えた問題は、すぐにやり直しをして、学習の定着につなげます。

インターネットを使つての調べ学習や発表のための資料の作成など、学校でしかできなかった内容の学習ができるようになります。

様々な事情により登校できない時でも、学校の授業をリモートで受けたり、友だちとやりとりをしたりすることができます。

「音楽の合奏」や「体育の技の紹介」、「作成した作品」、「調べ学習の発表」…、学校での頑張る姿の動画や写真などを家庭で視聴できます。

他にも、様々な使い方をしながら、学習の一層の充実を図ります。

自転車の安全な乗り方教室:3年生

5月9日(火)に3年生を対象にした「自転車の安全な乗り方教室」を運動場で行いました。今年も、講師として鹿島警察署員、能古見地区交通指導員、市役所総務課の皆様に来校いただきました。署員様からは自転車の点検の仕方を聞いたり、指導員様からは信号機付きのコースでルールやマナーを指導いただいたりしました。市役所の皆様は、信号機の設置をしていただきました。ありがとうございました。



「ぶたはしゃべる」で点検を



運動場のコースで

市役所の皆様は、信号機の設置をしていただきました。ありがとうございました。

「自分の命を守る」ために、知っておくことやできなければならないことを学べたと思います。



◆◆入賞おめでとう◆◆

- 県下ジュニアバレー観桜大会 準優勝 能古見ジュニアバレークラブ
- 江北町皐月杯バレー大会 ビッキーパート3位 能古見ジュニアバレークラブ
- 江北町皐月杯バレー大会 優秀選手賞 北川 絆愛